



# 試験申請図書作成要領

(住宅の品質確保の促進等に関する法律第53条関係)

制定：平成17年6月1日

制定：平成21年2月1日

ビューローベリタスジャパン株式会社

# 目 次

|                    |    |
|--------------------|----|
| § 1. 提出図書一覧        | 1  |
| § 2. 試験申請図書作成要領    | 2  |
| 2. 1 試験申請図書の体裁     |    |
| 2. 2 試験申請図書の目次及び構成 |    |
| § 3. 添付作成要領        | 4  |
| § 4. 別紙作成要領        | 6  |
| § 5. 追加検討資料作成要領    | 9  |
| § 6. 最終版図書作成要領     | 10 |
| 6. 1 最終版図書の装丁      |    |
| 6. 2 最終版図書の内容      |    |

## § 1. 提出図書一覧

「構造の安定に関する特別評価方法認定のための試験」の申請から完了までの間に、下記に示す資料をご提出下さい。

| 提出期日  | 提出図書  | 部数 | 作成要領<br>又は書式              | 備考  |
|---|---|----|---------------------------|---|
| 第1回委員会の<br>1週間前まで                                     | <input type="checkbox"/> 試験申請書  | 1部 | BVJ-001HA                 | ダウンロードコーナーより入手して頂けます。   |
|   | <input type="checkbox"/> 試験申請図書   | 4部 | 本要領 §2参照                  | 事前の内容確認用として使用致します。  |
| 第1回委員会の<br>前日 16:00 まで<br>(委員会が月曜日の場合は前<br>週の金曜日)     | <input type="checkbox"/> 試験申請図書   | 9部 | 本要領 §2参照                  | 委員会及び部会での検討資料として使用致します。<br>(事前にご提出の4部と内容に変更がない場合は、差し<br>引き5部で結構です。) |
| 第1回委員会の当日   |   |    |                           | 申請者に申請内容の説明を行って頂きます。  |
| 部会当日  | <input type="checkbox"/> 指摘事項回答書及び追加検討資料                                  | 6部 | 本要領 §5参照<br>BVJ-006HA     | 部会当日内容確認を致します。<br>追加資料が必要となる場合はご用意下さい。                              |
| 第2回委員会の<br>前日 16:00 まで<br><br>(委員会が月曜日の場合は前<br>週の金曜日) | <input type="checkbox"/> 指摘事項回答書及び追加検討資料                                  | 6部 | 本要領 §5参照<br>BVJ-006HA     | 委員会報告資料として使用致します。第1回委員会及び<br>部会の指摘を併せた資料をご用意下さい。                    |
|   | <input type="checkbox"/> 別添の建築物概要及び構造概要                                   | 1部 | 本要領 §3参照<br>BVJ-002HA     | 試験証明書(案)の資料として使用致します。   |
|   | <input type="checkbox"/> 別表1~4(申請する性能項目のみ)<br><input type="checkbox"/> 付表 | 1部 | 本要領 §4参照<br>BVJ-003~004HA | 試験証明書(案)の資料として使用致します。   |
| 第2回委員会の当日   |   |    |                           | 申請者に資料に基づき報告を行って頂きます。   |
| 第2回委員会の<br>1ヶ月後                                       | <input type="checkbox"/> 最終版図書  | 2部 | 本要領 §6参照                  | 1部は確認印を押印しお返し致します。  |

## § 2. 試験申請図書作成要領

### 2. 1 試験申請図書の体裁

- (1) A4版見開き製本として頂き、1冊にまとめて下さい。  
(図面等でA3版となるものは織り込んで下さい。)
- (2) 表紙及び背表紙には下記の事項を記入して下さい。
  - ①件名 (建物名称)
  - ②申請年月日 (第1回委員会の日付)
  - ③申請者名 (会社名)
  - ④設計者名 (会社名)

### 2. 2 試験申請図書の目次及び構成

下記に示す目次及び構成を基本として下さい。なお、「別添」と「別紙」の詳細につきましては、本要領の§3及び§4を参照して下さい。

#### 試験申請図書の目次及び構成

- 試験申請書 (写) (BVJ-001HA)
- パース又は模型写真
- 申請する性能項目及び等級
- 別添 . . . . . (§3参照)
  - (1) 建築物概要 . . . (別添の(2)の構造説明図は不要です。)
- 別紙 . . . . . (§4参照：申請する性能項目のみ)
  - ・(別表1) 1-1耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) の試験結果
  - ・(別表2) 1-2耐震等級 (構造躯体の損傷防止) の試験結果
  - ・(別表3) 1-4耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止) の試験結果
  - ・(別表4) 1-5耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止) の試験結果
  - ・付表1 構造検討概要書
  - ・付表2 地震応答解析に用いた復元力の概要
  - ・付表3 維持管理概要 (注：該当しない場合は不要です)
- 目次
- 本文
  - (0) 申請する性能項目及び等級
    - (1) 建築設計概要書
      - 1-1 一般事項
        - ①建物名称 ②建築場所 ③地域・地区 ④用途 ⑤建築主
        - ⑥設計・監理者名 (一般、構造) ⑦施工者名 等
      - 1-2 建築物概要
        - ①敷地面積 ②建築面積 ③延べ面積 ④基準階面積 ⑤容積率
        - ⑥階数 (地上、地下、塔屋)
        - ⑦高さ関係  
(軒の高さ、建築物の高さ、最高部高さ、基礎底深さ、杭支持深さ)
        - ⑧基準階軒高
        - ⑨構造種別 (基礎、骨組、床、耐震壁、ブレース、外壁、内壁等)
        - ⑩主要設備概要 (空調、衛生、電気、エレベータ等)

- 1-3 建築計画概要
  - ①敷地周辺環境 ②全体計画概要等
- 1-4 所要図面
  - ①配置図 ②各階平面図 ③主要立面図 ④主要断面図 ⑤主要矩形図 等
- (2) 構造計画概要書
  - 主体構造及び架構形式、耐震・耐風設計方針、地盤及び建物支持条件、断面設計方針、施工計画と構造計画上の関係の概要
- (3) 構造設計概要
  - ①使用材料及び許容応力度
  - ②固定荷重、積載荷重、積雪荷重及びその他の荷重に関する検討  
(固定荷重、積載荷重、等級に応じた積雪荷重等に関する構造計算書)
  - ③設計用層せん断力の検討 (層せん断力の分布形等)
  - ④応力解析概要 ⑤主要応力図
  - ⑥部材設計 (部材断面、継手、仕口等の設計)
  - ⑦地下階及び基礎の設計
  - ⑧耐震設計に関する検討  
(建築物に作用する等級に応じた地震力に関する構造計算書)
  - ⑨耐風設計に関する検討  
(建築物に作用する等級に応じた風圧力に関する構造計算書)
  - ⑩耐久性等関係規定の適合について
- (4) 時刻歴応答解析概要
  - ①時刻歴応答解析の方針 (等級、解析手法、使用プログラム)
  - ②採用地震動 (地震動の選択作成方法等)
  - ③応答解析結果 (応答最大加速度分布、応答最大層せん断力分布、応答最大転倒モーメント分布、応答最大層間変位分布、応答最大塑性率分布及び構造計算書) 等
- (5) 主要構造図
  - ①基礎伏図 ②主要床伏図 ③主要断面図 ④主要柱はり断面リスト
  - ⑤主要部材詳細図 ⑥その他の特殊設計部分構造図 等
- (6) 地盤調査概要
  - ①地形・地質の概要 ②ボーリング箇所見取図
  - ③ボーリング結果・柱状図 (N値を含む地盤断面図)
  - ④支持地盤の耐力判定資料
  - ⑤その他必要に応じて、地下水位測定、孔内水平載荷試験・室内土質試験・P S 検層・常時微動測定結果等に関する資料 等
- (7) その他
  - 7-1 実験及び調査報告書
    - 実験又は特別な調査に基づいて構造計算及び検討を行った場合はその報告書等
  - 7-2 特殊な材料 (免震材料、制振部材等) 及び特殊な装置 (融雪装置、アクティブ制振装置等) の概要
    - (建築基準法第 3 7 条第二号の規定により認定された材料の場合、その認定書の写しを含む。)
  - 7-3 特殊な材料及び特殊な装置の維持管理概要
    - 申請物件における特殊な材料及び特殊な装置に関する維持管理体制及び定期点検、応急点検、詳細点検項目及び判断基準等

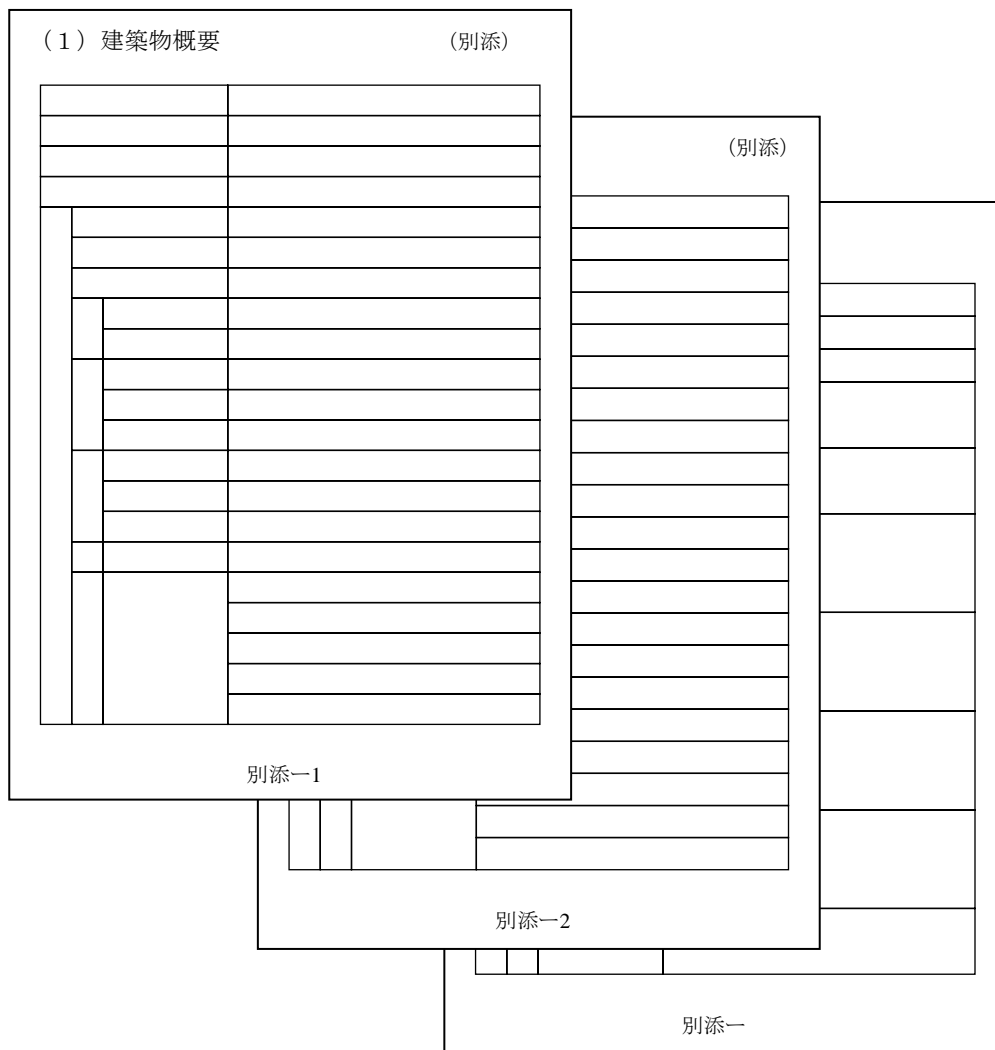
### § 3. 別添作成要領

別添は、建築物概要と構造説明図で構成されます。

#### 作成要領

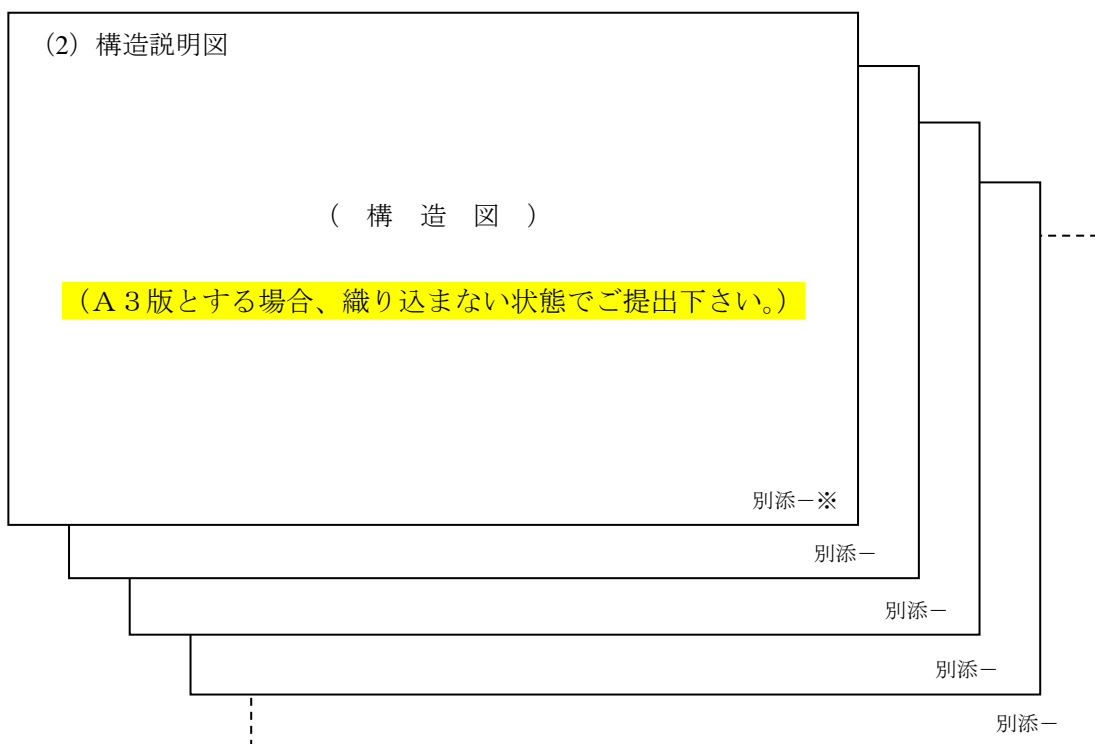
- ・ 頁は、建築物概要と構造説明図を通し頁にて、別添—1、別添—2、別添—3・・・として下さい。
- ・ 用紙サイズはA4版として下さい。なお、構造説明図はA3版でもかまいません。
- ・ 第2回委員会後に試験証明書の原紙としてご提出いただく際は、ステープラー留め等は行わない状態でご用意ください。
- ・ 別添の構成については、以下を参考にして下さい。

#### (1) 建築物概要



(2) 構造説明図

- ・「試験申請図書」の主要構造図の図面一式を入れて下さい。  
(意匠系の図面は不要です。また、用紙サイズは A3 でも構いません。)
- ・図面に記載されている図面作成者名、会社名その他管理番号などは全て削除した状態として下さい。  
また、試験の件名と、図面に記載されている件名が一致していない場合は、件名を修正していただくか、削除していただきますようお願いいたします。(図面名称や縮尺については、消さずに残してください。)



※：建築概要の次の番号からはじめる。

## § 4. 別紙の作成要領

### 別紙の構成

- ・別紙の構成は、別表（BVJ-003HA）・付表（BVJ-004HA）・資料で構成されます。

### 作成要領

- ・ページ打ちは、別表・付表・資料を通しページで、別紙-1，別紙-2，別紙-3，・・・として下さい。
- ・用紙サイズは A4 版として下さい。
- ・第 2 回委員会後に試験証明書の原紙としてご提出頂く際は、ステープラー留め等を行わない状態でご用意下さい。
  
- ・別紙の構成は以下を参考にして下さい。

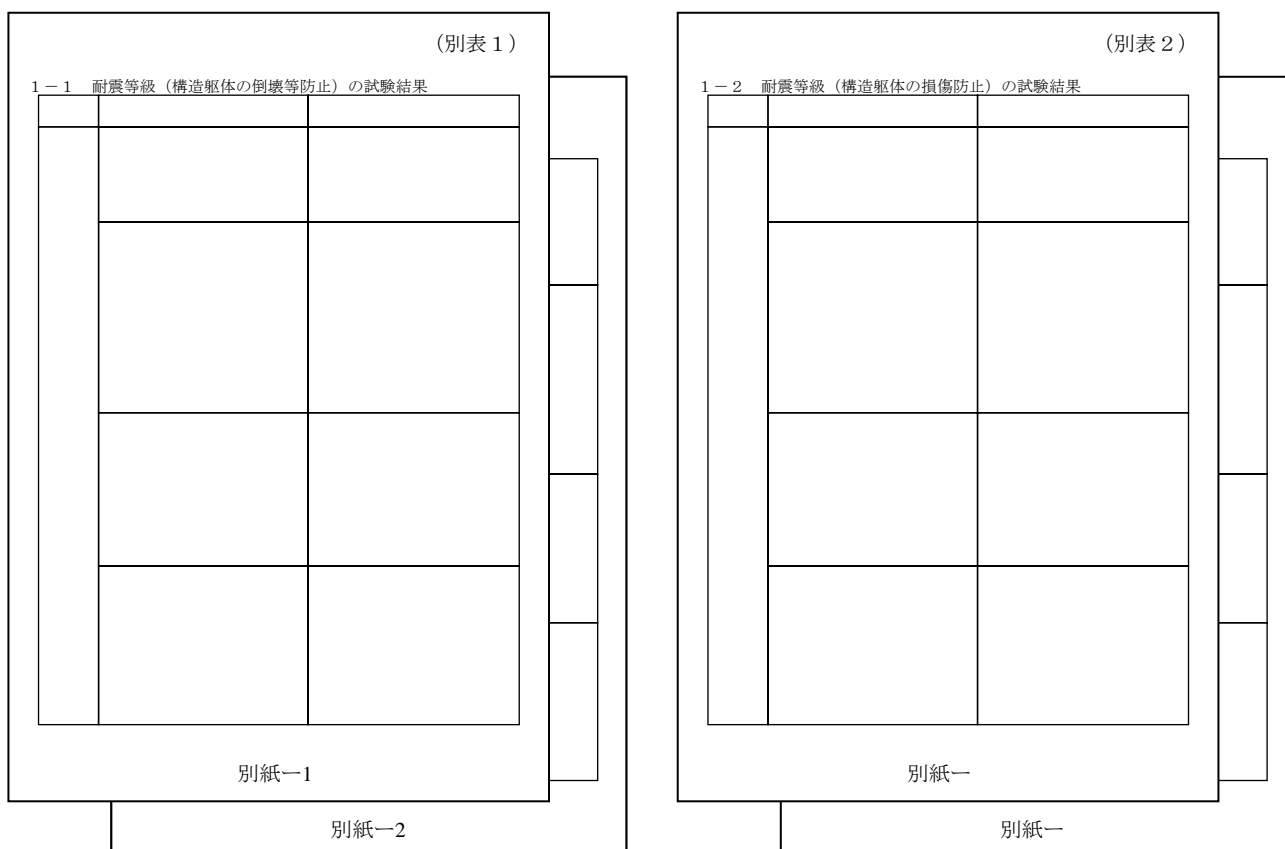
#### (1) 別表の内容

(別表 1) : 1-1 耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) の試験結果

(別表 2) : 1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止) の試験結果

(別表 3) : 1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止) の試験結果

(別表 4) : 1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止) の試験結果







(3) 資料の内容

- ・ (別表1)～(別表4)の「試験結果」の項目で引用している資料1、2、3、・・・・に対応する資料をご用意ください。
- ・ ページ番号については、(別表1)～(別表4)及び付表1～付表3からの通しページとしてください。
- ・ 詳細な検討経過の資料は必要としないので、設定条件一覧や結果一覧のように、なるべく簡潔な資料を試験申請図書や追加検討資料から抜粋して下さい。

- ・ 資料の項目例

資料1. 倒壊等防止用地震動及び損傷防止用地震動の諸元

資料2. 倒壊等防止用地震動及び損傷防止用地震動による応答結果

資料3. 2方向同時地震動に対する検討

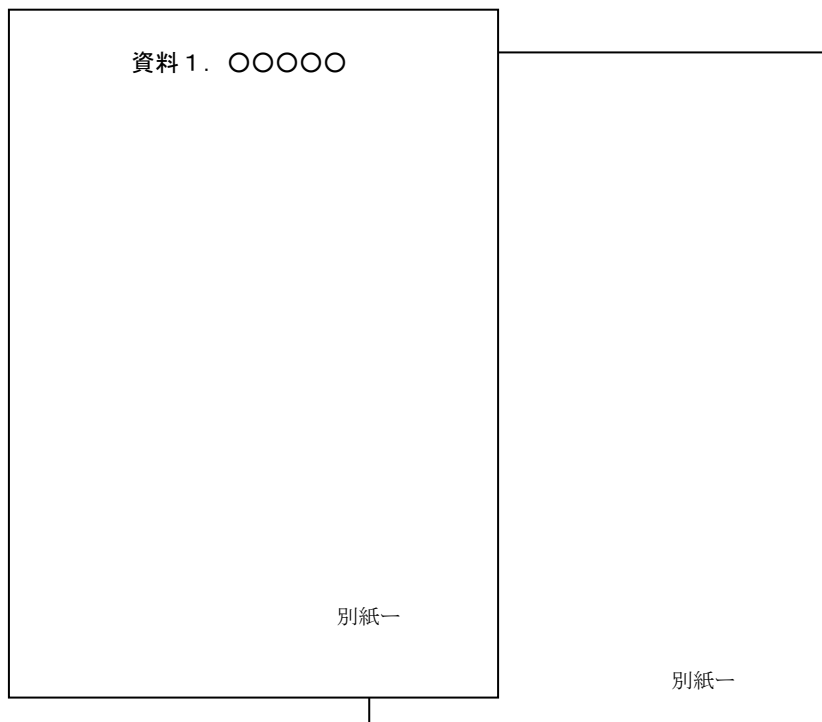
資料4. 上下方向地震動に対する検討

資料5. 入力地震動の位相差に対する検討

資料6. 鉛直方向の荷重に対する水平方向変形の影響に対する検討

資料7. 固定荷重、積載荷重、土圧、水圧に対する検討

資料8. 風荷重に対する検討



## § 5. 追加検討資料作成要領

以下の項目についてA4版で一冊にまとめて下さい。

- (1) 表紙（可能であれば背表紙にも同じものを記入して下さい。）
  - ①委員会名、②件名、③資料名、④日付（第2回委員会の日付）、
  - ⑤申請者名・設計者名（会社名）
- (2) 目次
- (3) 追加検討項目一覧表（下記の書式例を参考にA4横使いにて作成して下さい。）
- (4) 追加検討資料
- (5) 訂正事項一覧表（下記の書式例を参考にA4横使いにて作成して下さい）
- (6) 訂正事項（申請時の構造設計概要書からの訂正箇所が分かるようにして下さい。）
- (7) 指摘事項回答書（委員会、部会）

### 追加検討項目一覧表（書式例）

| 検討項目                   | 検討内容                               | 検討結果                                      | 変更内容 | ページ   |
|------------------------|------------------------------------|---|------|-------|
| 追加検討○<br>外装材設計用<br>風荷重 | 外装材設計用風荷重を示した。またバルコニー側のハイサッシを検討した。 | 外装材の風荷重を告示に基づいて算定し、バルコニー側のサッシを複層ガラスで設計した。 |      | 追○-追○ |

### 訂正事項一覧表（書式例）

| ページ  | 箇所   | 現状                          | 訂正及び追加内容 |   |
|------|------|-----------------------------|----------|---|
| P○-○ | 構造図○ | D断面FS3のt=2900の範囲：AY3側から1000 | 訂正       | D断面FS3のt=2900の範囲：AY3側から1800に修正（t=2900の範囲拡大） |
|      |      |                             |          |   |

## § 6. 最終版図書作成要領

### 6. 1 最終版図書の装丁

- ・ 1冊にまとめたものとして下さい。厚さが 10cm を超えるような場合は、両面コピーを利用して下さい。
- ・ A 4 版見開き製本用として正・副 2 部ご用意下さい。見開き製本の出来ない大きい図面（青焼きは避けて下さい）等は折り込んで下さい。
- ・ 表紙、中表紙、背表紙の文字のレイアウトは、下図に示したとおりです。

### 6. 2 最終版図書の内容

- ・ 最終版図書とは、委員会及び部会でご提出頂いた説明用図書全般で、指摘された事項等について変更、修正、差し替え等を行った最終の図書です。
- ・ 図書の構成は以下の順番を参考にして下さい。

- ・ 中表紙
    - ・ パースおよび模型写真
    - ・ 大臣認定書
    - ・ 試験証明書
    - ・ 別添
    - ・ 別紙
    - ・ 建築計画概要書
    - ・ 構造計画概要書
    - ・ その他（施工計画概要、特殊な材料及び装置の概要等）
    - ・ 指摘事項回答書（受付時委員会、部会、報告時委員会）
    - ・ 追加検討書（追加検討項目一覧表、追加検討資料）
    - ・ 訂正事項一覧（訂正事項一覧表、訂正資料）
- 大臣認定申請書類
- 試験用提出図書

※大臣認定申請書類については、弊社より返却した副本（写し）を添付して下さい。

※試験申請図書については、全て差し替え、訂正等終了したものとして下さい。

上記要領で、2部作成し、担当者宛にご提出下さい。内容確認を行った上で、1部に確認済みの印を押印し返却いたします。

なお、残りの1部については、当社保管用とさせていただきますのでご了承下さい。

※表紙、中表紙、背表紙の文字のレイアウト例

